

(別表)

市の公共料金支払におけるクレジットカード決済業務に係る公募型プロポーザル審査基準

本プロポーザルについては、以下の審査基準に基づき審査・評価する。

◆審査基準

審査項目		審査の視点	配点
クレジットカードの追加発行日数 (申し込みから発行までに要する日数)		迅速な業務遂行を実現するため、クレジットカードを追加発行する際には、申し込みから短期間で発行されることが望ましい。	10
他自治体における導入実績 (フランチャイズ契約をしているカード会社の実績を含む)		他自治体（都道府県・政令市・中核市・その他市町村の区分別）や同種費目の利用目的での導入実績があるか。	20
不正利用に対する補償等	補償の範囲と条件	補償対象の定義：盗難、紛失、偽造、フィッシング詐欺など、どのような種類の不正利用が補償の対象となるか。また、対象外となるケース（利用者の故意・過失）について明確に記載されているか。	10
		補償期間：不正利用発生から、カード会社への届出までの機関に制限があるか、届出前後の補償範囲はどのようになっているか。	
		免責事項：不正利用額に対する利用者の自己負担（免責）の有無。	
	申請手続きと迅速性	申請方法：不正利用の届出から補償申請までの手続方法が明確か。	10
		必要書類：補償申請に必要な書類が簡潔か。	
		審査期間：補償申請から審査、支払い完了までの標準的な所要期間。	
利用者のサポート体制	窓口体制：不正利用に関する問い合わせ窓口の設置状況。	10	
	情報提供：不正利用防止のための情報（注意喚起、対策方法など）を継続的に提供する仕組みがあるか。		
	不正探知システム：不正利用を早期に探知するためのシステムや監視体制がどのようになっているか。		
Web利用明細照会機能	費用	初期費用及びランニング費用が市の負担とならないような価格となっているか。	10
	検索機能と利便性	検索条件の多様性：日付、利用店舗名、金額で柔軟に検索できるか。	10
		データのエクスポート：明細データをCSVやPDFなどの形式で出力する機能の有無。	
	利用明細の閲覧性	リアルタイム更新：利用後、利用明細が迅速に反映されるか。	10
過去明細の遡及期間：何カ月前、あるいは何年前まで反映されるか。			
独自の取組・提案		クレジットカードに関して、その他業務の効率化に繋がる自社ならではの強みや、独自のサービス・取り組みなどについて、効果的で有用な提案があるか。	10
合 計			100